



# コンパニオンに関する質問と回答

## バチルス・ズブチリスGB03を含む

Q: バチルス・ズブチリスとは、何ですか？

A: 世界中の土壌の中に、自然に存在する棒状のバクテリアです。

Q: コンパニオンに含まれるバチルス・ズブチリス株は、どこから来たのですか？

A: コンパニオンに含まれるバチルス・ズブチリス株 (GB03) は、1930年代に初めてオーストラリアで発見されたものです。

Q: バチルス・ズブチリス GB03 は、土壌の中でどのように生きているのですか？

A: 万一、生存環境が悪くてもバチルス・ズブチリスは、死なずに胞子を作って生きています。(休眠状態)。そして、生存環境が良くなったとき、再び活動を始めます。

Q: バチルス・ズブチリスは、どんな環境で最も活動しますか？

A: 摂氏7度から45度のときに活動します。

Q: バチルス・ズブチリスは散布されたとき、どんな場所で生きているのですか？

A: 土壌の中では、植物の根毛付近にコロニー (群落) を作って生存しています。

Q: バチルス・ズブチリスは、何を食べるのですか？

A: 主な食源は、1) 植物の根から放出される糖分 2) 死んだ根細胞の炭素などです。

Q: コンパニオンは、どんな植物に対して使われるのですか？

A: すべての植物に対して、安全且つ効果的に使うことができます。

Q: コンパニオンは、酷暑の所や乾燥地帯のような悪条件の所でも使えますか？

A: そのような悪条件の所でもコンパニオンの中の微生物は、直ちに活動を始め、新しい根を保護し、栄養を与え刺激して植物を生育させます。

Q: バチルス・ズブチリスが植物の根の働くシステムを、改良するというのは本当ですか？

A: 本当です。

古い根や死んだ根を掃除して、実際に、根の掃除屋の機能を果たします。

更に、ホルモンも産生し、根の枝別れ、重さ、長さなどを増やします。

Q: バチルス・ズブチリスは、他にどんな恩恵を植物に与えますか？

A: 根元から植物を丈夫に且つ壮健にします。

その結果、健康な根のシステムを持った植物は栄養分をより良く吸収し、使うことができます。

Q: バチルス・ズブチリス GB03 は、土壌の中の栄養分に対しどんな影響を与えますか？

A: 酵素を産生して、土壌中の微量栄養素を遊離させ、植物が吸収しやすい形にします。

Q: コンパニオンを使うことによって、付近の環境にはどんな利益がありますか？

A: コンパニオンの成分は、すべて天然物なので植物に対する毒性はまったくありません。

そして、化学成分や肥料の塩を減らし、土質を改良します。

Q: コンパニオンは、どのくらいの頻度で散布すれば良いのでしょうか？

A: 通常、コンパニオンは、2~4週間おきに、㎡当り1.3ccご使用ください。

そうすれば、土壌中に有益な微生物がたくさん存在し、病原体はどこかへ行ってしまいます。

Q: コンパニオンは、灌漑システムにも使えますか？

A: もちろんです。どんなに微妙な灌漑器具を使用しても固まって詰まらせるようなことはありません。

Q: コンパニオンの有効保存期間は、どのくらいですか？

A: 特別な特許をとった技術によって、2年間以上有効に保存できます。